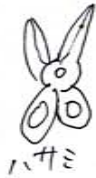


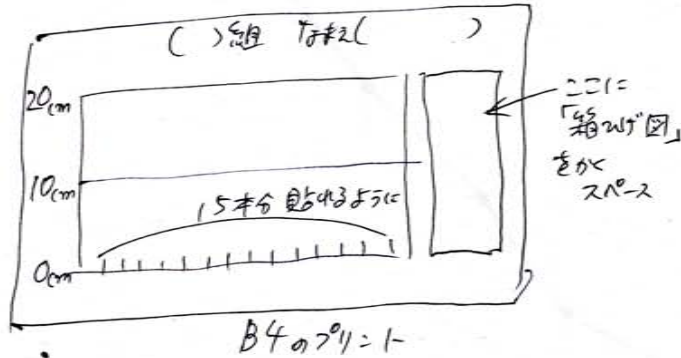
「箱ひげ図」の指導

999

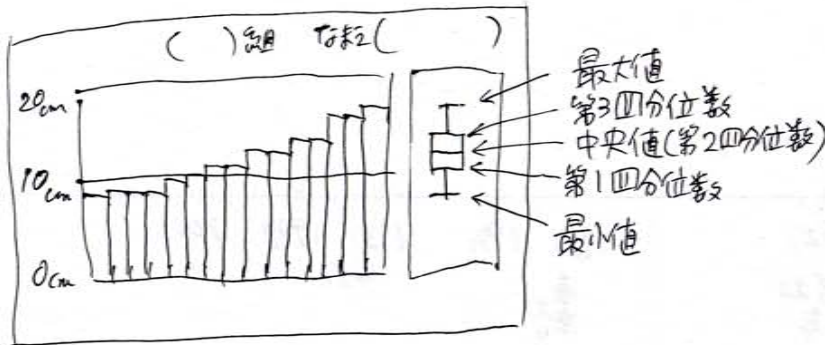
1. 紙テープを1人当たり2mと、ハサミを渡し、「10cmの長さを15本つくりなさい」と言う。ただし、定規や長さを量ることのできる道具を利用にはダメで、目分量で切っていくことを伝える。



2. B4のプリントに、のりで「短い方が長い方へ11段に貼る」ことを言って作業させる。



3. 完成すると次のようになる。

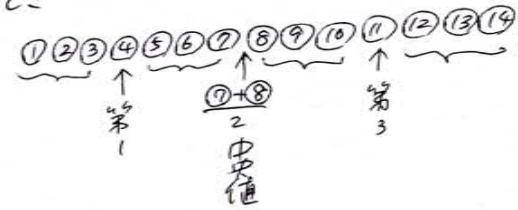


4. 資料は15個がもともとの方がいい。他の場合でも $4n-1$ の自然数がいい。例えば、7, 11, 15, 19, 23, ... などである。その理由は、箱ひげ図の四分位数(四分位点)の取り方がきいている。

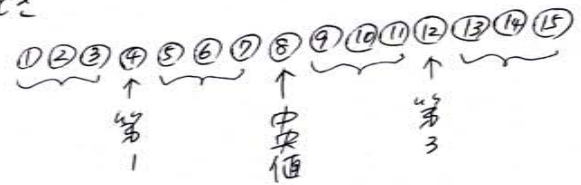
ア. 13個のとき



イ. 14個のとき



ウ. 15個のとき



エ. 16個のとき

